



日頃の備えを見直す

総合防災訓練

今年に関東大震災から100年が経過する節目の年です。この機会に改めて防災を考え、いざという時に備えましょう。

☎危機管理課 ☎225-2190

《日時》9月3日 8時30分～

《場所》各自主防災隊の訓練場所(回覧などに掲載)

《訓練内容》避難経路や備蓄品などの確認、避難所の開設、防災資機材の点検、水消火器などを使った初期消火(自主防災隊により異なる)



事前に確認 オールハザードマップ

洪水・浸水、土砂災害、地震で想定される被害の危険性を地図で確認できます。

《マイタイムラインを作ろう》

避難時の行動を時系列や役割別に記入でき、災害時の行動をまとめられます。この機会に家族で話し合しましょう。

《配布場所》危機管理課や公民館(市HPにも掲載)



心肺蘇生やAEDの使い方を訓練



簡易トイレの設置方法を確認



マップはこちら

時間差で発生する巨大地震に備えて

南海トラフ地震の臨時情報

南海トラフ地震は、今後30年のうちに70～80%の確率で起こるとされ、市内で最大震度5強の揺れが想定されています。特徴は、離れた場所で同時に起きたり、時間差で発生したりする可能性があることです。気象庁から発表される情報の種類を知り、焦らず落ち着いて行動できるよう備えましょう。

《南海トラフ地震臨時情報が発表されたら》

臨時情報の種類	取るべき行動
調査中	今後発表される情報に注意
巨大地震注意 巨大地震警戒	日頃の地震の備えの再確認 地震が発生したらすぐに避難できる準備 ※期間などの詳細は市HPに掲載
調査終了	地震の発生に注意しながら通常の生活

郷土博物館のミニ展示

100年前の大地震とあつぎ

関東大震災発生当時の写真や古文書などを展示します。

《期間》9月24日まで

《場所》あつぎ郷土博物館

☎あつぎ郷土博物館 ☎225-2515



防災への意識を高める

かながわ防災フェア2023

消防車両の試乗・展示や消防学校の学生が訓練を披露します。

《日時》9月10日 10～15時

《場所》神奈川県総合防災センター

☎県総合防災センター ☎227-0001



詳細はこちら

30周年 自然歳時記

●アユ●
アユ科

アユは、10～30センチほどの大きさで川の中流域にすむ。せきを遡上する姿や、ケイソウの生えたよどみの深い所で群れている様子が見られる。松枝町付近の小鮎川で見つけた。
写真・文 / 吉田文雄



暑い日が続く、川の土手に生える草花は今にも枯れそうでかわいそう。土手を下りると、川面から何とも言えない涼しい風が吹いてきた。温度計を沈めると21度を示し、川の中の快適な環境がうかがえた。

深いよどみに、キラリと光る魚影が見えた。そっと近づくとオイカワ

やアブラハヤに混じって金色に光るアユもいた。緑色のケイソウの茂る岩の辺りでは、数匹のアユたちが盛んに藻を食べていた。

これから産卵の時期を迎えるアユたち。栄養を蓄えて次世代につなげてほしい。アユを見ながら、この生態系が守られることを願った。

厚木市の人口
(8月1日現在)

🏠 世帯数 10万4807世帯 (前月比79世帯増)

👤 人口 22万4141人 (前月比46人減) 男11万5486人・女10万8655人